

令和2年度 第3回新潟市区自治協議会会長会議		
日 時	令和3年3月12日（金）午後2時00分 ～ 午後3時30分	
会 場	新潟市役所 本館3階 対策室1	
出席者	会長	松田 正實 北区会長、後藤 岩奈 東区会長、 外内 光春 中央区会長、小林 勲 江南区会長、 金子 洋二 秋葉区会長、小田 信雄 南区会長（座長）、 下川 照雄 西区会長、長井 正雄 西蒲区会長
	事務局等	市長、市民生活部長、市民協働課長ほか
傍聴者	1名（うち報道1名）	
主な議題	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 議題1 区自治協議会（第7期）を振り返って</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料1「区自治協議会（第7期）を振り返って（暫定版）」に基づき、各区自治協議会会長が第7期の主な成果や課題等に関する報告を行い、その後市長が感想・意見等を述べました。</li> </ul> <p><b>3 議題2 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区自治協議会提案予算の弾力的運用に関して、事業募集に当たっては区外の地域活動団体も対象とするなどの今後の方向性について、事務局から情報提供がありました。</li> <li>地域活動再開支援事業に係るフィードバック用記録集（リーフレット）の作成及び配布について、事務局から情報提供がありました。</li> <li>今後、発行予定の市報にいがたにおける地域活動再開支援事業の特集について、事務局から情報提供がありました。</li> </ul> <p><b>会議資料</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□次 第</li> <li>□資料1：区自治協議会（第7期）を振り返って（暫定版）</li> </ul>	



※東区自治協議会部分を抜粋したもの

暫定版

区自治協議会(第7期)を振り返って  
～成果と課題～

新潟市区自治協議会会長会議

令和3年3月31日

## はじめに

区自治協議会は、平成19年の政令市移行に伴う区政施行に合わせ設置されて以来、「協働の要」として、多種多様な地域課題の解決に向けたさまざまな取組みを重ねてきました。

本資料は、第7期の各区自治協議会が、どのような地域課題に対して、どのように考え、取組みを展開してきたか、またその取組みの結果・成果や、残された今後の課題などについて記録し、次期以降へと引き継ぐことで、今後の区自治協議会のさらなる活性化へとつなげることを目的に、作成したものです。

地域の特性・事情に応じた各区の工夫した取組みが記録されていますので、これからの区自治協議会委員におかれましては、自らの区はもちろん、他区の取組みについてもご一読いただき、今後の地域活動の一助にさせていただきたいと思えます。

また、巻末には、コロナ禍を踏まえ、「新型コロナウイルス感染症による区自治協議会の諸課題に関する情報共有」を掲載しましたので、こちらをご参照いただき、今後の活動に際して参考にさせていただきたいと思えます。

結びとなりますが、区自治協議会委員として、住民自治の推進にご尽力いただいた今期250余名の委員の皆さまに感謝を申し上げます。

**新潟市区自治協議会会長会議**

**座長 小田 信雄**

# 東区自治協議会（第7期）を振り返って

東区自治協議会会長 後藤 岩奈

## 1 はじめに

東区自治協議会は、地域を取り巻く環境が変化していく中、より良い東区の実現のため、区自治協議会提案事業の実施や、市への建議など、さまざまな活動を行ってきました。委員一人ひとりが、区民と区役所をつなぐ「協働の要」としての役割を果たすため、考え、行動した2年間だったと思います。

また、第6期区自治協議会の成果や課題を踏まえ、今期においては、会議の活性化に取り組むこととし、全体会を行政からの報告を受ける場とするだけでなく、委員が積極的に発言でき、意見交換ができる場となるよう心掛けた結果、一定の成果は出たものと感じます。

次期の東区自治協議会において、さらなる地域課題の解決に取り組んでいただけるよう、第7期東区自治協議会の成果や取組みをここに報告いたします。

## 2 取組内容・成果・課題

### (1) 全体会について

#### ア 「東区バスの運行に関する要望書」の提出

東区では、平成19年4月から2路線の区バスを運行しており、区民の移動手段として利用されています。現在、運行している小型バスは老朽化したツーステップの旧型車両のため、高齢者を中心に乗降に大変苦労される様子が多く見られます。区内の高齢化が一層進んでいく中で、高齢者をはじめ区民にとってより安心して利用できる区バスを運行することは、東区の活性化に欠かせないと考え、令和2年9月に市長へ要望書を提出しました。

要望内容は、「東区バスへの小型ノンステップバス車両の導入を早期に進めていただきたい」ということと、「シニア半わり制度について今後も継続して実施していただきたい」というものです。

今後も動向を注視し、さらなる区バスの利用促進や公共交通に関する地域課題に取り組んでいきます。

#### イ 「適応指導教室東区分室」の設置に向けた協議

平成30年12月に「東区内への適応指導教室設置に関する要望書」を市長及び教育長へ提出した後、第2部会の委員を中心に教育委員会との協議の場を継続

的に設け、他区の施設を見学するなど、区自治協議会委員として見識を深め、適応指導教室の設置に向けて意見を述べました。

令和2年9月には、新潟市教育相談センターの適応指導教室「ぐみの木教室」の東区分室が、東区プラザ内に開設される運びとなり、子どもたちの未来を想う委員の熱意が実を結び、大きな成果であったと思います。

## ウ 新潟県立大学との連携

令和元年度の東区自治協議会委員研修会として、新潟県立大学2年生の「地域社会論」の授業において、「県立大学生が考える東区のまちづくり」というテーマでワークショップを行いました。各部会で担当分野に沿ったテーマを設定し、グループに分かれて委員がファシリテーターや記録係を務め、学生の声に耳を傾けました。若い世代との意見交換を通じて、東区のまちづくりを考える貴重な機会になったと感じます。

また、県立大学連花祭では、防災関係の出展を行い、防災グッズやハザードマップの説明により学生や地域住民と触れ合い、災害時に対する意識の向上に取り組みました。

今後もあらゆる機会を捉え、積極的に連携を図り、多世代の意見が反映できる区自治協議会でありたいと考えます。

## エ 区自治協議会提案事業の実施方法の見直し

より良い東区の実現を目指し、地域課題の解決に取り組むため、これまで各部会においてさまざまな事業を実施してきました。

令和2年度は、区自治協議会提案事業の方向性を見直しにより、イベント型から、地域課題の調査研究に基づく課題解決型に移行することとし、各部会で地域課題を抽出し、それに係る現状の把握等に努め、区自治協議会としての取組みを検討しました。

提案事業検討部会において、令和2年度の実施状況を踏まえ、今後に向けて検討した結果、委員任期1期2年のうち、1年目は地域課題の調査研究を行い、2年目にそれを踏まえた事業を実施する方法が、区自治協議会の活動において望ましいのではないかと考え、令和3年度以降は、委員任期である2年間をひと区切りとして、区自治協議会提案事業に取り組むこととしました。

## オ 区自治協議会の認知度向上への取組み

平成30年度の「市政世論調査」では、東区は、区自治協議会の認知度が8区中、最下位となっていました。区自治協議会の活動を知ってもらうため、各事業の中で積極的にPRするとともに、広報紙「自治協かわらばん」を区だよりの紙面に掲載するなど、認知度向上への取組みを行ってきました。

令和2年度の同調査では、区自治協議会の認知度が2.6ポイント上昇してお

り、これまでの積み重ねが実を結んだものと感じています。

とはいうものの、決して高い認知度ではありませんので、区自治協議会の活動や取組みを多くの区民へ知ってもらうために、引き続き、効果的な広報の形を模索していきます。

## (2) 部会・提案事業について

令和元年度は、「東区まちづくり力・向上プロジェクト」と称し、各部会の担当分野においてさまざまな事業を実施しました。各事業を区自治協議会全体の事業と位置づけ、実施に向けて委員同士で連携し成果を上げることができたと評価しています。

令和2年度は、各部会で抽出した地域課題の調査研究を基に、事業内容等を検討する方向性としていましたが、昨今のコロナ禍の影響を受け、集客を伴う事業実施は困難であることから、地域課題の解決に向けた啓発グッズやリーフレット等の作成や配布など、普及啓発事業に取り組みました。

### ア 第1部会

第1部会は、「市民協働部門」として、コミュニティ（地域活動・市民活動）、防犯・防災・交通安全や行政運営などを所管する部会です。

令和元年度は、「じゅんさい池自然環境保全事業」、「発災時における地域防災対応力向上事業」を実施し、令和2年度は、「高齢者の安心安全プロジェクト」に取り組みました。

### イ 第2部会

第2部会は、「福祉・教育・文化部門」として、福祉・子育てや教育・生涯学習、文化・スポーツなどを所管する部会です。

令和元年度は、「東区めぐり子どもバスツアー」、「東区の魅力PR・おもてなし事業」を実施し、令和2年度は、「子どもの未来応援プロジェクト」に取り組みました。

### ウ 第3部会

第3部会は、「産業・環境部門」として、商工業・農業・観光や住環境（公害・ゴミ・公園・下水）、都市交通・都市景観、自然環境などを所管する部会です。

令和元年度は、「東区の農産物魅力発信事業」、「東区の公共交通の研究」を実施し、令和2年度は、「公共交通の利用促進プロジェクト」に取り組みました。

※提案事業の具体的な成果・課題等については、添付の事業評価書を参照ください。

### 3 おわりに

昨今のコロナ禍により、私たちの生活様式や行動は、大きな変化を余儀なくされました。会議の書面開催や、感染予防対策に配慮するなどの対応が必要となり、改めて会議の持ち方や、区自治協議会の活動のあり方を見直す時期にあると考えます。

また、今期において、地域課題の把握や効果的な区自治協議会提案事業の実施について検討し、見直しを図ったことで、今後新しい展開が始まるものと期待しています。

第8期区自治協議会が、新しい体制の中で、区民と区役所の「協働の要」としての役割を果たし、私たちの東区がますます住み良いまちとなるよう取り組んでいくことを願います。

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 東区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	東区まちづくりカ・向上プロジェクト【事業費予算 5,000 千円】のうち じゅんさい池自然環境保全事業【事業費予算 1,740 千円】
事業目的・概要	じゅんさい池公園は、アカマツ林に囲まれ、全国的にも珍しい2つの砂丘湖があるなど、住宅地の中で貴重な緑地環境を有している自然公園であるが、近年は、外来植物の繁茂や外来生物の繁殖がみられ、生態系等に被害が及んでいる。このじゅんさい池の自然環境を守り、憩の空間づくりを進めるため、区民との協働により保全活動を行うとともに、セミナー等を通じて、課題やあるべき姿の共有を図る。
事業の実施実績 <small>(実施回数、参加者数など)</small>	<p>じゅんさい池ワークショップ（意見交換会） 【開催日】令和元年6月26日（水） 【内 容】じゅんさい池との関わりや思いについての意見交換 【参加者】45名</p> <p>葦・園芸スイレンの刈取り作業 【開催日】令和元年7月7日（日） 【内 容】じゅんさい池西池の葦・園芸スイレン等の除去 【参加者】約90名</p> <p>東区まちづくりセミナー「じゅんさい池ってどこ？まちづくりってなに？」 【開催日】令和2年2月16日（日） 【内 容】第1部：講演会「事例に学ぼう！東区のまちづくり」 第2部：意見交換会「あなたのまちのあるもの探し」 【参加者】98名</p>
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効 性・効率性の評価など)</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「じゅんさい池ワークショップ」は、45名の参加があり、参加者同士で活発に意見交換をすることができた。アンケートでは回答者全員が「よかった」と回答していることから、満足度は非常に高かったと言える。「じゅんさい池を子どもに残したい」等の意見があったが、それらの意見を活かしていく方法を考える必要がある。</li> <li>・地元のコミュニティ協議会や町内会と協働して、じゅんさい池の自然環境保全を図ることができた。次世代に残していくことを視野に入れ、子どもの参加も促していきたいが、一方で危険が伴う作業もあることから、検討の余地がある。</li> <li>・「まちづくりセミナー」では98名の参加があり、講演会や意見交換会を通して、東区のまちづくりについて考えるきっかけを作ることができた。アンケートでは回答者の75%がよかった（「よかった」「どちらかといえばよかった」の合計）と回答していることから、充実した内容であったと言える。</li> <li>・2年間、自治協議会提案事業としてじゅんさい池の環境保全に取り組んできた。今後は、東区全体の事業、まちづくりの一環として、区として取り組んでいくことを期待する。</li> </ul>
備考	

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 東区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	東区まちづくり力・向上プロジェクト【事業費予算 5,000 千円】のうち 発災時における地域防災対応力向上事業【事業費予算 770 千円】
事業目的・概要	発災時に地域住民等からの対応を求められることが想定され、地域の特性や住民の状況等を認識している自治（町内）会の防災対応力を高めていく必要がある。これまで地域コミュニティ協議会を対象にワークショップや情報伝達訓練を実施してきたが、自治（町内）会を対象としたワークショップ等の研修会を地域コミュニティ協議会単位で開催する。
事業の実施実績 （実施回数、参加者数など）	<p>【開催日】①令和元年12月 9日（月）午後1時30分～4時 ②令和元年12月10日（火）午前9時30分～正午 ③令和元年12月10日（火）午後1時30分～4時</p> <p>【内 容】震度6の地震の発生を想定し、住民の安全確保に必要となる自治会・町内会の初動対応を考えるワークショップ 講義（30分） ワークショップ（70分） 発表（30分） まとめ（10分） 講師：中越防災安全推進機構</p> <p>【対 象】区内の自治会・町内会の役員及び防災士 【参加者】計 188名 ① 70名 ② 55名 ③ 63名</p>
事業の評価 （地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効 性・効率性の評価など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災対応力を向上させるため、東区内を3つに分けて、自治会・町内会を対象としたワークショップを開催した。町内会・自治会で参加者数にばらつきがあったものの、全体としては、3回の合計で188名と大勢の参加があった。</li> <li>・ワークショップでは参加者同士で活発な意見交換がされ、その場限りではなく、地域に持ち帰って次につながる話し合いができていた。</li> <li>・アンケートでは96%が「参考になった」（「大変参考になった」「参考になった」の合計）と回答していることから、地域で防災について考えるきっかけになったと言える。今後も、自治会・町内会で自主的に防災の備えに取り組んでほしい。</li> </ul>
備考	

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 東区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	東区まちづくり力・向上プロジェクト【事業費予算 5,000 千円】のうち 東区めぐり子どもバスツアー【事業費予算 160 千円】
事業目的・概要	東区内の特色ある施設を実際に訪れ、見て学び体験することにより、東区の魅力の再発見と東区に対する愛着を深めることに繋げる。 また、他校の児童との交流により、子どもたちが社会性を育む機会を提供する。
事業の実施実績 <small>(実施回数、参加者数など)</small>	<p>【日 時】令和元年 8 月 20 日 (火) 午前 9 時 20 分～午後 4 時 15 分</p> <p>【参加者】小学 4～6 年生 37 名 (4 年生：22 名、5 年生：9 名、6 年生：6 名)</p> <p>【見学先】新潟新幹線車両センター、新潟空港屋上、 山の下関門排水機場、航空自衛隊新潟分屯基地</p>
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効 性・効率性の評価など)</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員を上回る多くの申し込みがあり、参加した小学生へのアンケートでも満足度は昨年度を上回る 97% となり大変好評で、喜んでいる子ども達の様子が印象的だった。</li> <li>・参加者の体調管理や昼食内容などの前回の反省点を踏まえて実施した結果、全体を通して大きな問題もなく終わることができたが、見学先については学校の授業と重複するところもあり、さらに考慮できれば良かった。</li> <li>・様々な学校から参加があり、4 年生が半数以上を占める中、5・6 年生の参加も見られたことから、他校や他学年との交流を図る機会となった。</li> <li>・過去 4 回の実施により事業目的を達成したと考えられることから、自治協議会としての実施は今年度で最後とし、これまでの実施状況をまとめた報告書を地域へと配布したことも大きな成果であるとする。</li> </ul>
備考	

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 東区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	東区まちづくり力・向上プロジェクト【事業費予算 5,000 千円】のうち東区の魅力PR・おもてなし事業【事業費予算 800 千円】
事業目的・概要	東区には多くの魅力があるが、報道等で取り上げられる機会が少ないため、区づくり事業で実施する「ゆめ・のせ・あがれ！寺山こい来いフェスタ」と連動し、東区の魅力をPRするとともに、東区にまた来たい、住んでみたいと思ってもらえることを目的に実施する。
事業の実施実績 <small>実施回数、参加者数など</small>	<p>イベント広報 「ゆめ・のせ・あがれ！寺山こい来いフェスタ」について、チラシやテレビ番組等で広報 【放送日】令和元年5月3日（金・祝）</p> <p>おもてなしスペースの設置 来場者の休憩スペースとしてテントを設置 【実施日】令和元年4月26日（金）～5月6日（日）</p> <p>効果検証 効果検証のためのアンケート実施 278名分集計 【実施日】4月28日（日）、30日（火） 5月1日（水）、3日（金）、6日（日）、12日（日）</p>
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシやポスターを作成し、公共施設等に配布したことで、幅広く周知することができた。</li> <li>・飲食ブースの横に設置したことで、テントで休憩している方達が飲食ブースを利用するきっかけを作ることができた。</li> <li>・設置した場所が人の集まりやすい遊具から遠く、利用者が少なかったため、今後実施する場合は、設置する場所を検討する必要がある。</li> <li>・アンケートを実施したことで、参加者の年齢層や居住区、参加した感想などを確認することができ、来年度以降イベントを開催する際に参考となる情報を提供することができた。</li> <li>・実行委員会と連携して、東区内のコミ協や小中学校、企業と共にお互いの強みを生かしながら、本事業を実施できたことは、大きな成果と考える。</li> </ul>
備考	

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 東区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	東区まちづくり力・向上プロジェクト 【事業費予算 5,000 千円】のうち 東区の公共交通の研究【事業費予算 300 千円】
事業目的・概要	超高齢社会の進展とともに、公共交通の需要と関心は高まっており、需要を的確に捉えながら、持続可能な公共交通体系を構築することが求められている。 東区の公共交通が抱える課題を調査・研究し、問題を解決するための方策を検討する。
事業の実施実績 実施回数、参加者数など	公共交通に関連した市内視察 【開催日】令和元年12月12日（木） 【内 容】移動スーパー事業の取り組みの紹介、現地視察（株式会社 マルイ） 住民バスの取り組みの紹介、住民バス乗車（新潟島に循環バスを走らせる会） 【参加者】東区自治協議会委員13名  公共交通に関連した学習会 【開催日】令和2年2月7日（金） 【内 容】第1部 講演会（講師：交通ジャーナリスト 鈴木 文彦 氏） 第2部 講師と自治協議会委員との意見交換会 【参加者】第1部 東区自治協議会委員20名 東区内地域コミュニティ協議会等の希望者21名 第2部 東区自治協議会委員14名  東区生活交通改善プランの検討 【内 容】東区生活交通改善プランの改定方針の確認 東区生活交通改善プラン（改定案）の確認（意見聴取3回）
事業の評価 地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効 性・効率性の評価など	・公共交通に関連した市内視察で学習した移動スーパーと住民バスの取り組みは、地域の生活交通を考えるうえで重要であるため、今後の自治協議会の活動に役立つものとなった。  ・公共交通に関連した学習会では、地域の方にも参加していただいたことで、地域での活動にも役立つものとなったと考える。  ・公共交通が抱える課題を解決するためには専門的な知識が必要なことが多い。本事業で学習の機会を創出したことで、今後の自治協議会での事業の基礎とすることができた。  ・東区生活交通改善プランの検討では、改定内容を確認（意見聴取）し、計画に地域の声を反映することができた。
備考	

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 東区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	東区まちづくり力・向上プロジェクト 【事業費予算 5,000 千円】のうち 東区の農産物魅力発信事業【事業費予算 740 千円】
事業目的・概要	東区には、馬鈴薯、やわ肌ねぎに代表されるような特産の農産物があるが、 区民の認知度は高いとは言えない。平成30年度に実施した料理アイデアコン テスト応募作品の活用や各種媒体等によるPRを行うことで、東区内に誇れる 特産品があることを周知し、生産者や区民の誇りづくりに繋げる。
事業の実施実績 <small>実施回数、参加者数など</small>	<p>東区区民ふれあい祭でのPRブース出展 【開催日】令和元年7月15日（月・祝） 【内 容】 東区産農産物等の直売（JA新潟市が協力）、東区産馬鈴薯を使った料理アイ デアコンテスト入賞レシピ集の配布、区自治協議会認知度向上のためのアンケ ートの実施、区自治協議会の広報紙の掲示</p> <p>東区安全・安心ファミリーフェスタでのPRブース出展 【開催日】令和元年10月27日（日） 【内 容】 東区産男爵いもとベーコンのケーキサレの試食（新潟市食生活改善推進委員 協議会が協力）、東区特産農産物の認知度アンケートの実施（回収数402）、アン ケート協力者への東区産馬鈴薯プレゼント、東区産馬鈴薯を使った料理アイデ アコンテスト入賞レシピの掲示・レシピ集配布</p> <p>東区の特産農産物を使った親子料理教室 ※令和2年2月29日実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大 防止のため中止 【内 容】保護者向け地産地消講座 小学生向け東区産農産物を使った調理実習</p>
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効 性・効率性の評価など</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東区区民ふれあい祭でのPRブース出展では、JA新潟市から協力を得て、 農産物等の直売を実施することができた。来場者約14,000人のイベントで、実 際に東区産農産物に触れる機会を提供することができ、効果的に東区産農産物 の知名度を向上させることができた。</li> <li>・東区安全・安心ファミリーフェスタでのPRブース出展では、新潟市食生活 改善推進委員協議会の協力を得て、東区産馬鈴薯を使った料理の試食を実施す ることができた。来場者約1,600人のイベントで、東区産農産物の美味しさを 伝えることができ、効果的に東区産農産物の知名度を向上させることができた。</li> <li>・各イベントでのPRブースの出展では、昨年度の自治協提案事業で実施した 料理アイデアコンテストの入賞作品を活用したPRをすることで、東区の特産 農産物を広く区民に発信することができた。</li> <li>・東区の特産農産物を使った親子料理教室は、新型コロナウイルス感染症の拡 大防止のため中止となったが、定員20名に対して19名の申し込みがあった。</li> </ul>
備考	

(※令和2年度 東区事業評価書は令和3年3月中に確定)